

農 福 連 携

技術支援者 育成研修

座学研修(eラーニング)▶11/22~12/2

4日間開催!!
実地研修▶

12/4(水)・12/9(月)~11(水)

農福連携は、農業と福祉が連携し障害のある人等の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害のある人等の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組です。

対象者

すでに農福連携の支援に関わっている者又はこれから関わろうとする者
(例:農業者、農業法人、障害福祉サービス事業所のサービス管理者・職業指導員・生活支援員、
県市町村職員、JA職員、民間企業、団体の職員、その他農福連携に関心のある者 等)

受講条件

- 農福連携技術支援者として岡山県内で活動できる者
(近県の者を含む)
- 修了試験を含む**全ての研修課程を受講できる者**
(※欠席された場合、農林水産省の認定は受けられません。)

定員

20名

※応募者多数の場合は選考の上、受講者を決定します。なお、県内在住・在勤者を優先して選考します。

申込方法

岡山県電子申請サービス からお申し込みください。

※受講の可否については、10月17日頃をめやすにE-mailでご連絡します。



締切 10月10日(木)

https://apply.e-tumo.jp/pref-okay-ama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=40720

お問合せ先

岡山県農林水産部農産課
担い手育成班

TEL 086-226-7420

「農福連携技術支援者」は、農業者、就労系障害福祉サービス事業所の職業指導員、障害のある人の三者に対して、農福連携を現場で実践する手法を具体的にアドバイスする専門人材です。

修了試験を含む全ての研修課程を受講し、農林水産省から必要な知識と技能を身につけたと認められた方は「農福連携技術支援者」として認定されます。

01

座学研修 (eラーニング)

配信
期間

11月22日(金)～
12月2日(月)

※配信期間中、各自が視聴可能な時間に受講して下さい。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 農福連携概論 ② 社会福祉と障害者福祉 ③ 障害者雇用と就労系障害福祉サービスの仕組み、関係機関の役割 ④ 障害福祉サービス事業の運営の実務 ⑤ 障害特性と職業的課題の基礎 ⑥ 農業と農村社会 | <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 農作業の一般的な特徴 ⑧ 農業経営の仕組み ⑨ 農作業の流れ ⑩ 農業者による農福連携の経営実務 ⑪ 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法(事前学習) |
|---|--|

02

実地研修 日程

12/4(水)・12/9(月)～11(水)

日にち	講義内容	講師	場所
12月 4日(水)	9:00～10:15 ■ オリエンテーション ■ 開講式	国際医療福祉大学 大島 珠子 講師	岡山県立青少年農林文化センター 三徳園 (岡山市東区) (竹原505)
	10:30～16:30 ■ 障害特性に対応した農作業支援技法(グループワーク)		

日にち	講義内容	講師	場所
12月 9日(月) 10日(火)	9:00～17:15 ■ 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法(実地研修)	兵庫県立大学 大学院 豊田 正博 教授	岡山県立青少年農林文化センター 三徳園
12月 11日(水)	8:30～12:00 ■ 障害福祉サービス事業の運営の実務(実地研修)	A型事業所 杜の家ファーム 職業指導員 大森 一弘 (おおもり農園代表取締役)	おおもり農園 三徳園に集合し、 借上バスで移動 します
	13:00～15:00 ■ 修了試験 ■ 情報交換		岡山県立青少年農林文化センター 三徳園



- ◆ 新型コロナウイルスの感染状況次第では研修が中止される場合があります。
- ◆ 農福連携技術支援者(農林水産省認定)は、国家資格ではありません。